

学校林教育の歴史

本校の学校林は香美市土佐山田北滝本、国道 32 号根曳峠から西へ約 1.5kmの一帯に広がる24.3ヘクタールとなっている。昭和18年に須崎市の地主から借り受けたのが始まりとされている。(当時は、鳶ヶ池中学校の前身の長岡実践女学校が植林等の作業に入っていたとのことである)その学校林の中には、「清純寮」(校訓の中の言葉のひとつ)がある。最初の清純寮は、木造建造物で五右衛門風呂2個を備え、昭和28年に建てられた。平成10年には、南国市森林研究センター「清純寮」として新たに建て替えられている。

学校林教育の歴史としては、前述の本校前身長岡実践女学校長岡実践女学校時代(昭和18年)から始まり、以来60年を超える歴史の中で、毎年保護者やその他関係者の協力を得ながら、植林その他の活動を継続してきている。

平成19年度は、「県森と緑の会」と地元OB等の協力を得て、久しぶりに全校生徒による学校林学習(体験実習・合宿)を復活させることができた。

沿革

- 昭和18(1943)年12月20日 須崎市地主辻駒吉氏と分収林契約をし、植林を開始する
- 昭和23(1948)年3月9日 学校林に檜1500本を植える
- 昭和27(1952)年4月1日 学校植林五ヵ年計画をたてる
- 昭和28(1953)年7月25日 学校及び学校林の記録映画作成
- 昭和28(1953)年9月16日 学校林内清純寮の落成式を挙行
- 昭和29(1954)年3月2日 学校植林優秀校として県表彰を受ける。炭釜2基を築き製炭を始める。
- 昭和29(1954)年10月 炭釜(大石式)1基増築する
- 昭和30(1955)年3月3日 学校植林優秀校として県表彰を受ける
- 昭和30(1955)年6月20日 清純寮歌・山の歌ができる
- 昭和30(1955)年10月29日 第6回全日本学校植林コンクールにおいて第3位に入賞、大臣賞を受ける。
- 昭和31(1956)年3月8日 学校林内の記念館落成
- 昭和31(1956)年10月31日 第7回全日本学校植林コンクールにおいて第1位に入賞、大臣賞を受ける。
- 昭和32(1957)年 昭和32年度以降においても毎年7月～8月中に学校林下草刈り作業と3年生は2月に卒業記念の植樹作業を継続実施している。また、PTA 会員にも下刈作業等の協力を得ていることと新任教員が必ず年度当初学校林を視察していることは本校の特色といえる。
- 昭和36(1961)年2月25日 緑の羽根運動に参加(3年生高知市内で)以降毎年運動に参加。
- 昭和36(1961)年 南国市が本校の学校林として120万円で買い取り、立木を580万円で売却する。
- 昭和37(1962)年7月29日 学校林宿舎(清純寮)修理着手、7月31日完了。
- 昭和38(1963)年10月11日 (南国市条例26号)鳶ヶ池中学校学校林設置条例が制定される。
- 昭和39(1964)年3月3日 学校植林優秀校として県表彰を受ける。
- 昭和40(1965)年2月8日 学校林測量開始
- 昭和40(1965)年3月3日 緑化優秀校として県知事より表彰を受ける。
- 昭和40(1965)年3月4日 林業実績発表大会において生徒2名発表
- 昭和40(1965)年12月22日 学校林小屋建築完成
- 昭和53(1978)年5月 第29回全国植樹祭で県表彰を受ける。

昭和の学校林活動の様子



坂本村長と北岡校長(昭和28年当時)



第7回全日本学校植林コンクール第一位
表彰式参列者(昭和31年・東京)



下草刈り作業



炭焼き実習の様子



清純寮前での薪割り作業



学校林へ向かう生徒たち



旧清純寮。当時は田んぼがあった



お風呂の準備



間伐作業



杉の植樹の様子



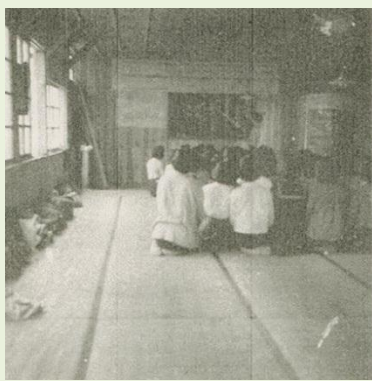
二人一組での竹の運搬



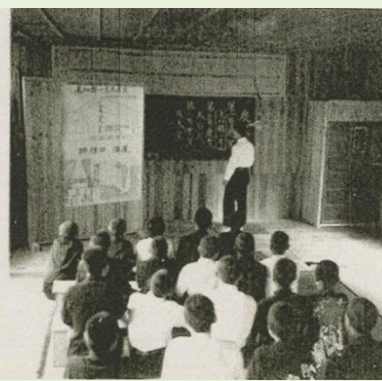
当時存在した炭焼き小屋



清純寮前での作業



清純寮での学習の様子



自転車で来る生徒もいた。



昭和二十七年度卒業生記念植林
「僕の手、私の足でふとる学校林」



昭和二十八年度卒業生記念植林
「ここからは僕等の山よがんばろう」



竹の運搬の様子